

温泉 掲 示 (温泉法第18条第一項に基づく温泉成分の掲示)

浴用

効果的で安全な温泉入浴の為、次の掲示をよく読んで入浴してください。

温 泉 の 成 分				禁忌症及び適応症		入浴の方法及び注意		温泉の利用に関する情報	
1 源泉名 グリーンピア津南2号温泉 2 泉 質 ナトリウム-塩化物温泉(弱アルカリ性低張性高温泉) 3 泉 温 源 泉 49.8 °C 使用位置 新潟県中魚沼郡津南町大字秋成12257番地 4 温泉の成分				この温泉は次のような適応症がありますが、禁忌症もありますので、その場合は入浴を控えてください。 1、禁忌症 (1)一般的禁忌症 病気の活動期(特に熱のある時)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体的衰弱の目覚ましい場合、 少し動くとき息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、 消化管出血、目に見える出血があるとき、 慢性の病気の急性増悪期 (2)泉質別禁忌症 ※該当なし 2、適応症 (1)一般的適応症 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲捻挫などの慢性期) 運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え症、末梢神経障害、 胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、 軽症高血圧、 耐糖能異常(糖尿病)、 軽い高コレステロール血症、 軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、 自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、 病後回復期、疲労回復、健康増進 (2)泉質別適応症 切り傷、やけど、慢性皮膚病、 虚弱児童、慢性婦人病		1、入浴前の注意 (1) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。 酩酊状態での入浴は特に避けること。 (2) 過度の疲労時には身体を休めること。 (3) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (4) 高齢者、子供及び体の不自由な人は、一人での入浴は避けることが望ましい。 (5) 浴槽に入る前に、手足から掛湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (6) 入浴時、特に気象直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。 2、入浴方法 (1) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (2) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましい。 (3) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよい。 (4) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよい。 3、入浴中の注意 (1) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (2) 浴槽から出るときは、立ちくらみを起こさないように、ゆっくり出ること。 (3) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。 4、入浴後の注意 (1) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。 ※刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合又は、肌の弱い人は温泉成分等を洗い流した方がよい。 (2) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。 5、湯あたり 温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らしこのような状態からの回復を待つこと。 6、その他 浴槽中の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れない。		【加水】 ○ 季節により温度調整の為に加水しています。 ○ 温泉資源保護の為に加水しています。 ※ 加水は水道水を使用しています。 【加温】 ○ 入浴に適した温度を保つ為に加温しています。 ○ 貯湯槽を有する為、衛生管理の目的から加温しています。 ○ 季節により温度調整の為に加温しています。 【ろ過・循環】 ○ 衛生管理と浴槽内の温度を維持するの為に、ろ過循環装置を使用しています。 【入浴剤】 ※ 該当なし 【消毒処理】 ○ 衛生管理の為に、塩素系薬剤による消毒を行っています。	
試料 g 中の成分、分量及び組成									
(イ)陽イオン		ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール (mval%)	(ロ)陰イオン		ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール (mval%)
水素イオン	H ⁺	-	-	-	フッ素イオン	F ⁻	0.4	0.02	0.10
リチウムイオン	Li ⁺	0.0	-	-	塩素イオン	Cl ⁻	632.0	17.83	87.35
ナトリウムイオン	Na ⁺	329.2	14.32	72.22	臭素イオン	Br ⁻	1.3	0.03	0.15
カリウムイオン	K ⁺	22.6	0.58	2.92	ヨウ素イオン	I ⁻	0.0	0.01	0.05
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	1.6	0.09	0.45	亜硝酸イオン	NO ₂ ⁻	0.0	-	-
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	10.7	0.88	4.44	硝酸イオン	NO ₃ ⁻	-	-	-
カルシウムイオン	Ca ²⁺	78.9	3.94	19.87	水酸イオン	OH ⁻	0.0	-	-
ストロンチウム	Sr ²⁺	0.2	0.00	-	硫化水素イオン	HS ⁻	0.0	-	-
バリウムイオン	Ba ²⁺	0.2	0.00	-	硫酸水素イオン	HSO ₄ ⁻	0.0	-	-
アルミニウムイオン	Al ³⁺	0.0	-	-	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	3.5	-	-
マンガンイオン	Mn ²⁺	0.2	0.01	0.05	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	0.0	0.07	0.34
鉄(Ⅱ)イオン	Fe ²⁺	0.2	0.01	0.05	リン酸水素イオン	HPO ₄ ²⁻	-	-	-
鉄(Ⅲ)イオン	Fe ³⁺	-	-	-	炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	146.8	-	-
銅イオン	Cu ²⁺	0.0	-	-	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	0.0	2.41	11.83
亜鉛イオン	Zn ²⁺	0.0	-	-			-	-	-
計		443.8	19.83	100	計		786.2	20.37	100
(ハ)解離成分				(ハ)溶存ガス成分					
非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	溶存ガス成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)		
メタケイ酸	H ₂ SiO ₂	152.0	1.95	遊離二酸化炭素	CO ₂	3.9	0.09		
メタホウ酸	HBO ₂	3.8	0.09	遊離硫化水素	H ₂ S	0.0	-		
計		155.8	2.04	計		3.9	0.09		
溶存物質(ガス性の物を除く) 1386 mg/kg				溶存物質(ガス性の物を除く) 1390 mg/kg					
(ニ)その他微量成分		総ヒ素(As) 不検出 mg/kg	(ホ)その他参考事項(試験室)	密度	0.9990 (20℃/4℃)				
		カドミウム(Cd) 不検出 mg/kg		pH 値	7.8				
		鉛イオン(Pb) 不検出 mg/kg		蒸発残留物	1529 mg/kg(110℃)				
		総水銀(Hg) 不検出 mg/kg		知覚的試験 : 無色透明、微塩味・微硫化水素臭					
5 温泉の分析年月日 6 分 析 者 2023 年 7 月 31 日 登録番号 新潟県(登)環企第4号 新潟県新潟市江南区祖父興野53番地、1 一般財団法人新潟県環境分析センター 理事長 猪俣 太									